

1 単元名 球技～ベースボール型（ソフトボール）～

2 目標

- 安定したバット操作と走塁での攻撃，連携した守備等によって攻防を行うことができる。
(技能)
- 基本的な技能の習得に向けた練習に主体的に取り組み，ソフトボールの楽しさを味わおうとする。また，フェアなプレイを大切に，仲間と協力して自己の役割を果たそうとすること，課題の解決に向けた話し合いに積極的に参加することができるようにする。
(態度)
- 球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方などを理解し，課題解決に向けた練習の仕方を多面的に考えることができる。
(知識，思考・判断)

3 単元の指導について

(1) 教材観

ソフトボールは「ベースボール型」に分類される球技で，二つのチームが交互に攻撃と守備を行い，一定回数の中での総得点を競うスポーツである。バット操作と走塁で得点を得ることや，ボール操作と守備で失点を防ぐところに楽しさや喜びを感じることができる。また，チームの仲間と協力して作戦を立てたり戦術を工夫したりして勝敗を競うことで楽しさを味わうこともできる。しかし，「ゴール型」や「ネット型」の種目に比べて経験のある生徒が少なく，ルールや戦術的課題が複雑であることや，ゲームを楽しむためには「投げる」，「打つ」，「捕る」，「走る」などの幅広い技能が必要とされることから，「ソフトボールは難しい」と思い込んで消極的になる生徒も出てくることが予想される。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は，明るく素直で，活発な生徒が多い。事前に行った調査では，保健体育の授業を「楽しい」と回答した生徒が*%となり，実際に授業でも活発に運動に取り組む生徒が多い。しかし，自分から進んで運動に取り組むことができると回答した生徒は*%となっており，運動に積極的に取り組む生徒と消極的な生徒の二極化が顕著になっているのが現状である。また，指示されたことに対しては一生懸命動くことができるが，自分の考えや判断で行動することができない生徒が多いのが課題である。

(3) 指導観

指導にあたっては，少人数グループでの活動や野球経験のある生徒を各グループのミニティーチャーに設定するなど学習形態を工夫したい。また，生徒同士が互いの課題や成長を実感したり様々な役割を経験したりすることで，仲間と協力しながら同じ目標に向けて活動する楽しさを体感させたい。さらに，簡易のルールから段階的にルールを改定していくことで，ゲーム中の様々な役割を経験させるとともに，主体的な判断行動や役割行動が自チームの得点や失点防止につながる「ブレイク・ストップゲーム」で運動の特性に触れさせ，自ら進んで運動に取り組むことができる生徒を育てていきたい。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
学習に即した評価規準	①自己の役割を◎ <u>主体的に</u> 果たそうとしている。 (観察) ②課題解決に向けた話し合いに◎ <u>積極的に関わり</u> ，発言したり同意したりしている。(観察) ③運動する場や用具等の安全に◎ <u>常に</u> 気をつけている。 (観察)	①技術的な課題や有効な練習方法について，自分の考えを◎ <u>分かりやすく</u> 書き出している。 (学習カード) ②示された資料をもとに，課題に応じた練習方法や作戦を選んでいる。 ◎ <u>分析</u> している。 (観察)	①大きな動作で狙った方向に◎ <u>正確に</u> ボールを投げるができる。 (観察) ②地面と水平になるようにバットを◎ <u>力強く</u> 振り抜き，ボールをフェアグラウンドに打つことができる。(観察) ③ポジションの役割に応じたベースカバーやバックアップの動きが◎ <u>スムーズに</u> できる。(観察)	①技術の名称やゲームの行い方について，◎ <u>正しい</u> 具体例を挙げている。 (観察・学習カード) ②試合のルールや審判の方法について◎ <u>正しく</u> 理解している。 (観察)

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（12時間扱い）本時は○印

段階	時間	主なねらい・学習活動	評価計画			
			関	思	技	知
はじめ	50分×1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○運動の特性や学習のねらい，進め方を理解する。 ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○ボール操作についての練習の仕方を理解する。</div> 1 ルールや学習のねらい，進め方について知る。 2 学習カードの記入の仕方や資料の活用方法を知る。 3 チーム編成をして，自分の役割を確認する。 4 ボール操作（キャッチボール）をする。 5 学習を振り返る。		①		①
なか1	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○基本的な技能を高めながら，仲間と協力して主体的に学習に取り組むことができるようにする。</div>	③		①	
	3	1 本時の学習内容を確認する。 2 キャッチボールメニューを行う。 ① 1対1 ② 3対3 ③ リレー ④ ゴロ取り		①		①
	4	3 バッティングメニューを行う。 ① ティーバッティング ② トスバッティング 4 ワンベースゲームを行う。 5 学習を振り返る。	②		②	
なか2	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○身に付けた技能を生かして，チームにおける自己の役割を理解しながらプレイすることができるようにする。</div>		②	①	
	6	1 本時の学習内容を確認する。 2 スキルアップドリルを行う。 ① キャッチボール ② ティーバッティング	①	①		
	7	③ キャッチボールマスター 3 進塁ゲームを行う。 4 学習を振り返る。	③			②
なか3	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○チームにおける自己の役割を理解し，主体的に判断しながらプレイすることができるようにする。</div>		①	②	
	9	1 本時の学習内容を確認する。 2 チームでの課題練習を行う。 ① キャッチボール ② 打撃練習	②			②
	⑩	③ 守備練習		②	③	
	11	3 ブレイク・ストップゲームを行う。 4 学習を振り返る。	①			②
まとめ	50分×1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○身に付けた技能を生かして，仲間と協力してゲームを楽しむことができるようにする。</div> 1 グループで準備運動をする。 2 グループ毎に各チームの課題を話し合い，解決に向けた練習を行う。 3 リーグ戦を行う。 4 学習のまとめをする。	①		③	

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- 資料をもとに、課題に応じた練習方法や作戦を選んでいる。(運動についての思考・判断)
- ポジションの役割に応じたベースカバーやバックアップの動きができる。(運動の技能)

(2) 準備・資料

ソフトボール、バット、学習カード、ホワイトボード、デジタルタイマー、ティースタンド、防球ネット、プラスチックボール、タブレット端末

(3) 展開 (10/12)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
はじめ 5分	1 整列, 挨拶をする。 ・出欠・健康観察 2 本時のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・見学者がいた場合は役割を確認する。 ・前回の学習内容を確認してから本時の学習内容を説明する。 	
なか 35分	3 準備運動をする。 4 チーム毎に試合の作戦と課題練習の内容を考える。 5 チームで課題練習をする。 ・キャッチボール ・打撃練習 ・守備練習 6 ブレイク・ストップゲームをする。 ・2回戦制で行う。 ・攻撃は, 1 塁から 3 塁までのいずれかの塁上に残っている走者をホームインさせることで得点できる。 ・打者一巡で攻守交代。 ・守備は, 走者のホームインを阻止する「ブレイク」と打者走者の進塁を防ぐ「ストップ」を選択してプレイする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールに使う筋肉を解すことができる準備運動を考えさせて, チーム毎に実施させる。 ・前時の反省からチームの戦術や課題克服のための練習内容を考えさせる。 ・ミニティーチャーが中心となって話し合いが進むようにする。 ・技能のポイントをホワイトボードに掲示しておく。 ・タブレット端末を用いて投球や打撃の動作を確認しながら練習できるようにする。 <p>◇投球や打撃の動作が身に付いていない生徒には, 資料を見て自力解決させたり, 教師が支援したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークを大切にし, みんなでサポートし合いながらゲームを楽しめるよう助言する。 ・カバーリングや中継など, ボールを持たない時の動きに注意するよう助言する。 <p>◇守備の動き方 (ベースカバー等) が分からない生徒には, 動き方の例を示して, それを真似させる。</p>	<p><思考・判断②> 示された資料をもとに, 課題に応じた練習方法や作戦を選んでいる。◎分析している。 (観察)</p> <p><運動の技能③> ポジションの役割に応じたベースカバーやバックアップの動きが◎スムーズにできる。 (観察)</p>
まとめ 10分	7 後片付けと整理運動をする。 8 学習活動の反省と次時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードをもとに本時の振り返りをさせる。 ・本時のまとめをする。 	

◇は努力を要する状況にある生徒への手立て